



Cisco UCS Server Configuration Utility リリース ノート

初版発行日：2017年10月20日

改訂日：2019年9月9日

このマニュアルでは、UCS SCU および関連するファームウェアまたはドライバの機能、システム要件、および未解決の警告について説明します。このドキュメントは、「[関連資料](#)」セクション (17 ページ) の一覧にあるドキュメントと併せて使用します。



注 マニュアルの発行後に、マニュアルをアップデートすることがあります。マニュアルのアップデートについては、Cisco.com で確認してください。

C: 表 1 に、このドキュメントのオンライン変更履歴を示します。

C: 表 1 オンライン変更履歴

リビジョン	日付	説明
H0	2019年9月9日	6.0 (4c) の未解決および解決済みの問題を更新
G0	2019年9月4日	リリース 6.0 (2b) の未解決の問題を更新
F0	2019年6月11日	リリース 6.0(4) 向けリリース ノートを作成
E0	2019年2月25日	リリース 6.0(2) 向けリリース ノートを作成
D0	2018年10月26日	リリース 6.0(1) 向けリリース ノートを作成
C0	2018年4月27日	リリース 5.1(3) 向けリリース ノートを作成
B0	2017年11月23日	リリース 5.1(2) 向けリリース ノートを作成
A0	2017年10月20日	リリース 5.1(1) 向けリリース ノートを作成。



目次

このマニュアルの構成は、次のとおりです。

- [概要 \(2 ページ\)](#)
- [システム要件 \(4 ページ\)](#)
- [解決済みの不具合 \(10 ページ\)](#)
- [未解決の警告 \(11 ページ\)](#)
- [既知の動作 \(16 ページ\)](#)
- [関連資料 \(17 ページ\)](#)

概要

このリリース ノートでは、次の製品の機能、および未解決の警告について説明します。

- Cisco UCS Server Configuration Utility
- Cisco Driver Update Utility

Cisco UCS Server Configuration Utility

Cisco UCS Server Configuration Utility (UCS SCU) は、単一のアプリケーションからサーバを簡単に設定し、管理するために役立つアプリケーションです。UCS SCU は、Cisco C シリーズ サーバの設定と保守に関連する複雑さを軽減し、時間を短縮します。サーバの導入も容易になります。このマニュアルには、最小限のリポートおよびオペレーティング システムの自動的な無人インストールで、サーバ ハードウェアの自動認識を通じてサーバをすばやく設定するために役立つ質問を示します。

UCS-SCU を使用すると、以下を実行できます。

- UCS C シリーズ サーバのアップグレード、トラブルシューティング、および設定を行います。
- サーバ インベントリを表示します。
- 接続されているハード ドライブの RAID ボリュームを設定します。
- 次のいずれかのオプションを使用して、オペレーティング システムをインストールします。
 - 高速インストール：デフォルト設定を使用して、オペレーティング システムをインストールします。
 - カスタム インストール：オペレーティング システムをインストールする前に、デフォルト設定を変更します。
- サーバの状態およびログを表示します。

これらのタスクの実行に関する詳細情報については、『[Cisco UCS サーバ 設定設定ユーティリティ ユーザー ガイド](#)』の最新バージョンを参照してください。



注

UEFI ベースの OS インストールは M5 プラットフォームでのみサポートされています。

Cisco Driver Update Utility

Cisco Driver Update Utility によって、シスコのサポート対象デバイスすべてのドライバをインストールまたは更新することができます。

Cisco Driver Update Utility では、以下を実行できます。

個々にまたはまとめてドライバの更新をインストールします。



注 Windows ドライバ zip ファイル内の DriverPackageInfo.xml ファイルが更新されます。

これらのタスクの実行の詳細については、『[Cisco Driver Update Utility](#)』を参照してください。

新機能

リリース 6.0 (4c) の新機能

レガシー M.2 ドライブでの OS のインストールのサポート：

リリース 6.0 (4c) 以降では、NI-SCU は、AHCI モードの M.2 フォームファクタ SSD での OS のインストールをサポートしています。

NI-SCU OS のインストールのシリアル番号 /VD ID に基づくドライブ検出のサポート：



注 この機能は、レガシーの M.2 ドライブではサポートされていません。

NI-SCU スクリプトは、`OsDrive:/dev/sdk` フィールドを使用して OS インストール ディスクを決定します。ただし、サーバに仮想ディスク、物理ディスク、SD カード、または USB デバイスなど複数のストレージ デバイスがある場合、インストール前に OS インストール ディスクを識別できません。

たとえば、複数の物理ディスクを搭載したサーバに OS をインストールしようとした場合、OS のインストールが発生する可能性があるディスクを制御する方法はありません。

リリース 6.0 (4c) では、この問題を解決するために、次の NI-SCU 設定ファイル パラメータが導入されています。

- **DriveErialnumber:** これは物理ドライブのシリアル番号です。
- **StorageControllerSlotID:** コントローラのスロット ID。DriveSerialNumber が存在する場合、このパラメータは無視されます。
- **VirtualDriveNumber:** VD 番号。



注 StorageControllerSlotID とともに VirtualDriveNumber を指定する必要があります。

上記のパラメータの値は、python `get_storage_details.py` スクリプト (NI-scu パッケージの一部) を使用して取得できます。このスクリプトは、Cisco IMC の IP アドレス、ユーザー名、およびパスワードを引数として使用します。これらのパラメータを使用して NI SCU 設定ファイルを編集してから、インストールを続行する必要があります。これにより、サーバに複数のディスクがある場合でも、スクリプトが OS のインストールに必要なディスクを選択することが保証されます。



注 Osdrive:/dev/sdk フィールドを使用した NI-SCU スクリプトは引き続き適用されます。

システム要件

ここでは、Cisco UCS SCU および Cisco Driver Update Utility でサポートされているオペレーティング システム、サポートされているハードウェア プラットフォーム、およびハードウェア要件を示します。

サポートされるオペレーティング システム

- [リリース 6.0\(4\)](#)
- [リリース 6.0\(2\)](#)
- [リリース 6.0\(1\)](#)
- [リリース 5.1\(3\)](#)
- [リリース 5.1\(2\)](#)
- [Release 5.1\(1\)](#)

リリース 6.0(4)



注 サーバ上でサポートされているオペレーティング システムは、プロセッサのタイプによって異なります。

次に例を示します。

- 第 2 世代の Intel® Xeon® スケーラブル プロセッサを搭載したサーバは、Ubuntu 18.04.1 LTS および 18.04.2 LTS をサポートしています。
- Intel® Xeon® スケーラブル プロセッサを搭載したサーバは、Ubuntu 18.04 LTS、18.04.1 LTS、18.04.2 LTS、16.04.4 LTS、16.04.5 LTS、および 16.04.6 LTS をサポートしています。

特定のサーバでサポートされているオペレーティング システムのリストについては、以下を使用してください。

[UCS ハードウェアおよびソフトウェア互換性マトリックス](#)

リリース 6.0 (4) では、次のオペレーティング システムのサポートが追加されました。

- Windows Server 2012 R2
- Windows Server 2016
- Windows Server 2019
- Red Hat Enterprise Linux 6 Update 9
- Red Hat Enterprise Linux 6 Update 10
- Red Hat Enterprise Linux 7 Update 3
- Red Hat Enterprise Linux 7 Update 4
- Red Hat Enterprise Linux 7 Update 5
- Red Hat Enterprise Linux 7 Update 6
- VMware ESXi 6.0
- VMware ESXi 6.5
- VMware ESXi 6.7
- SUSE Linux Enterprise Server 12 Update 2

- SUSE Linux Enterprise Server 12 Update 3
- SUSE Linux Enterprise Server 12 Update 4
- SUSE Linux Enterprise Server 15
- SUSE Linux Enterprise Server 15 SP1
- CentOS 6.9
- CentOS 6.10
- CentOS 7.3
- CentOS 7.4
- CentOS 7.5
- Ubuntu 16.04
- Ubuntu 18.04

リリース 6.0(2)

リリース 6.0 (2) では、次のオペレーティング システムのサポートが追加されました。

- Windows Server 2012 R2
- Windows Server 2016
- Windows Server 2019
- Red Hat Enterprise Linux 6 Update 9
- Red Hat Enterprise Linux 6 Update 10
- Red Hat Enterprise Linux 7 Update 3
- Red Hat Enterprise Linux 7 Update 4
- Red Hat Enterprise Linux 7 Update 5
- Red Hat Enterprise Linux 7 Update 6
- VMware ESXi 6.0
- VMware ESXi 6.5
- VMware ESXi 6.7
- SUSE Linux Enterprise Server 12 Update 2
- SUSE Linux Enterprise Server 12 Update 3
- SUSE Linux Enterprise Server 12 Update 4
- SUSE Linux Enterprise Server 15
- CentOS 6.9
- CentOS 6.10
- CentOS 7.3
- CentOS 7.4
- Centos 7.5
- Ubuntu 16.04
- Ubuntu 18.04

リリース 6.0(1)

リリース 6.0 (1) では、次のオペレーティング システムのサポートが追加されました。

- Windows Server 2012 R2
- Windows Storage Server 2012 R2
- Windows Server 2016
- Red Hat Enterprise Linux 6 Update 5
- Red Hat Enterprise Linux 5 Update 10
- Red Hat Enterprise Linux 7 Update 3
- Red Hat Enterprise Linux 7 Update 1
- Red Hat Enterprise Linux 7 Update 5
- VMware ESXi 5.5
- VMware ESXi 6.0
- VMware ESXi 6.5
- SUSE Linux Enterprise Server 12 Update 1
- SUSE Linux Enterprise Server 12 Update 2
- SUSE Linux Enterprise Server 12 Update 3
- SUSE Linux Enterprise Server 15
- CentOS 6.9
- CentOS 6.10
- CentOS 7.3
- CentOS 7.4
- Centos 7.5
- Ubuntu 16.04
- Ubuntu 18.04

リリース 5.1(3)

リリース 5.1 (3) では、次のオペレーティング システムのサポートが追加されました。

- Windows Server 2012 R2
- Windows Server 2016
- Red Hat Enterprise Linux 6 Update 5
- Red Hat Enterprise Linux 7 Update 3
- Red Hat Enterprise Linux 7 Update 1
- VMware ESXi 6.0
- VMware ESXi 6.5
- SUSE Linux Enterprise Server 12 Update 2
- SUSE Linux Enterprise Server 12 Update 3
- CentOS 6.9

- CentOS 7.3
- CentOS 7.4

リリース 5.1(2)

リリース 5.1 (2) では、次のオペレーティング システムのサポートが追加されました。

- Windows Server 2012 R2
- Windows Server 2016
- Red Hat Enterprise Linux 6 Update 5
- Red Hat Enterprise Linux 7 Update 3
- Red Hat Enterprise Linux 7 Update 1
- VMware ESXi 6.0
- VMware ESXi 6.5
- SUSE Linux Enterprise Server 12 Update 2
- SUSE Linux Enterprise Server 12 Update 3
- Centos 7.3

Release 5.1(1)

リリース 5.1 (1) では、次のオペレーティング システムのサポートが追加されました。

- Windows Server 2012 R2
- Windows Server 2016
- Red Hat Enterprise Linux 6 Update 5
- Red Hat Enterprise Linux 7 Update 3
- Red Hat Enterprise Linux 7 Update 1
- VMware ESXi 6.0
- VMware ESXi 6.5

サポートされるプラットフォーム

- [リリース 6.0\(4\)](#)
- [リリース 6.0\(2\)](#)
- [リリース 6.0\(1\)](#)
- [リリース 5.1\(3\)](#)
- [リリース 5.1\(2\)](#)
- [リリース 5.1\(1\)](#)

リリース 6.0(4)

UCS-SCU 6.0(4) および Cisco Driver Update Utility 6.0(4) は、次のサーバでサポートされています。

- UCS-C220 M5
- UCS-C240 M5
- UCS-C480 M5
- UCS-C480 M5 ML
- UCS-S3260 M5

リリース 6.0(2)

UCS-SCU 6.0(2) および Cisco Driver Update Utility 6.0(2) は、次のサーバでサポートされています。

- UCS-C125 M5
- UCS-C220 M5
- UCS-C240 M5
- UCS-C480 M5
- UCS-C480 M5 ML
- UCS-S3260 M5
- UCS-C220 M4
- UCS-C240 M4
- UCS-C460 M4
- UCS-S3260 M4

リリース 6.0(1)

UCS-SCU 6.0(1) および Cisco Driver Update Utility 6.0(1) は、次のサーバでサポートされています。

- UCS-C125 M5
- UCS-C220 M5
- UCS-C240 M5
- UCS-C480 M5
- UCS-S3260 M5
- UCS-C220 M4
- UCS-C240 M4
- UCS-C460 M4
- UCS-S3260 M4

リリース 5.1(3)

UCS-SCU 5.1(3) および Cisco Driver Update Utility 5.1(3) は、次のサーバでサポートされています。

- UCS-C220 M5
- UCS-C240 M5
- UCS-C480 M5
- UCS-S3260 M5

リリース 5.1(2)

UCS-SCU 5.1(2) および Cisco Driver Update Utility 5.1(2) は、次のサーバでサポートされています。

- UCS-C220 M5
- UCS-C240 M5
- UCS-C480 M5

リリース 5.1(1)

UCS-SCU 5.1(1) および Cisco Driver Update Utility 5.1(1) は、次のサーバでサポートされています。

- UCS-C220 M5
- UCS-C240 M5

Cisco UCS SCU のハードウェア要件

次に、UCS SCU の最低ハードウェア要件を示します。

- **CD-ROM ドライブ** : UCS-SCU を起動し、実行するためには、USB CD/DVD-ROM ドライブが必要です。UCS-SCU を起動するために、CIMC KVM で仮想メディア オプションも使用できます。
- **マウス** : 一部の機能では、ナビゲーションのために標準マウス (USB) が必要です。
- **USB ディスク オンキー デバイス** : UCS-SCU のログの保存などの機能のために、USB ディスクオンキーが必要です。
- **RAM** : 最低 4 GB の RAM。使用可能な RAM が最低推奨値より小さい場合、UCS-SCU は適切に機能しません。
- **ネットワーク アダプタ** : 一部のオプション機能 (support.cisco.com からの OS ドライバのダウンロードなど) では、ネットワーク アクセスが必要です。単一のオンボード NIC アダプタによる接続がサポートされます。



注 ネットワーク設定 は、6.0(4) リリースではサポートされていません。

- **RAID カード** : RAID 設定および OS のインストールは、選択されたコントローラでサポートされます。



注 リリース 6.0(4) 以降では、SCU は JBOD モードのインストールをサポートしています。ドライブが JBOD モードの場合、状態は「ドライブがさらされており、ホストによって制御されています」と表示されます。この状態になると、SCU によって、ユーザーはドライブ上の OS のインストールを進めることができます。ドライブが「未設定」状態になっている場合は、OS のインストールを続行する前に論理または仮想ドライブを設定する必要があります。

解決済みの不具合

- [リリース 5.1\(2\)](#)
- [リリース 6.0\(4\)](#)

リリース 6.0(4)

このセクションでは、Cisco UCS SCU リリース 6.0(4c) における解決済みの問題を記載しています。

- CSCvq64911

症状 古い Cisco VIC 管理ドライバは、ドライバがシステム内に物理的に存在しない場合でも、SCU に一覧表示されます。この問題は解決されました。

回避策 この問題の既知の回避策はありません。システム上で機能への影響はありません。

リリース 5.1(2)

このセクションでは、Cisco UCS SCU リリース 5.1(2) における解決済みの問題を記載しています。

- CSCvg09045

症状 OS のインストールが完了せず、[license (ライセンス)] ページでユーザー入力を待機している SCU が停止しています。これは、ネットワーク モードが専用モードのときに NI-SCU をトリガーすると発生します。

回避策 Cisco IMC ネットワーク モードを共有 LOM モードに変更します。

未解決の警告

- [リリース 6.0\(4\)](#)
- [リリース 6.0\(2\)](#)
- [リリース 6.0\(1\)](#)
- [Release 5.1\(1\)](#)

リリース 6.0(4)

このセクションでは、リリース 6.0(4c) における未解決の問題を記載しています。

- CSCvq98140

症状 Cisco UCS M5 サーバでは、Windows 2012R2、Windows2016、および Windows2019 OS のインストールが失敗します。これには、LSI 組み込み RAID コントローラに接続されている SATA HDD が搭載されています。次のエラーメッセージが表示されます。

Windows が無人応答ファイルを解析または処理できませんでした

回避策 この問題の既知の回避策はありません。SCU は、ソフトウェア RAID/LSI 組み込みコントローラに接続されている SATA HDD での OS のインストールをサポートしていません。

- CSCvq85323

症状 Cisco ブートで最適化 M.2 RAID コントローラに接続している M.2 ドライブで RHEL 7.6 のインストールが失敗し、次のエラーメッセージが表示されます。

ストレージ設定の確認中にエラーが発生しました

回避策 VD を作成し、RHEL 7.6 をインストールします。

- CSCvq90605

症状 OS ISO 送信元リモート共有に IPv6 アドレスが指定されている場合、NI-SCU スクリプトは失敗し、次のエラーメッセージが表示されます。

NISCU OS のインストールに失敗しました。CIMC-xxxx: xxxx: xxxx: xxxx: xxxx: xxxx: xxxx 理由-OS メディアが見つかりません。適切な OS メディアを入力してください

回避策 OS ファイル共有には IPv4 アドレスを使用します。

このセクションでは、リリース 6.0(4a) における未解決の問題を記載しています。

- CSCvp74380

症状 カスタム windows 2016/2019 のインストール中に、「Assertion failed In ItemFileWriteStore」という警告メッセージが表示されます。この問題は、インタラクティブな SCU と Windows OS のカスタム インストールでのみ発生します。

回避策 [OK] をクリックしてインストールを続行します。

- CSCvp63203

症状 カスタム インストール ページで既存の設定を完了せずに、[OS Custom Install (OS カスタム インストール)] ページの他のタブに移動すると、「Internet Security」という警告メッセージが表示されます。

回避策 [Allow (許可)] を選択し、続行のための決定オプションを覚えておいてください。

- CSCvp91904

症状 デバイス マネージャで Qlogic QL4XXXX カードの実行バージョンが 8.37.35 の場合、QL4XXXX カードの DUU ドライバの更新は失敗します。

回避策 8.37.35 バージョン は 6.0 (4a) の最新バージョンです。そのため、DUU からの更新をスキップします。

- CSCvq00372

症状 NISCU 設定ファイルで SFTP または TFTP プロトコルが指定されている場合、XML 解析エラーが NISCU に表示されます。

回避策 NISCU 設定ファイルで SCP または HTTP プロトコルを使用します。

- CSCvq00466

症状 NISCU 設定に SFTP または TFTP プロトコルが応答および設定ファイルのファイル共有として含まれている場合、NISCU はインタラクティブ モードで起動します。

回避策 NISCU 設定ファイルで SCP または HTTP プロトコルを使用します。

- CSCvp81504

症状 Windows OS では、チップセット ドライバのインストールが正常に完了した後、SCU DUU で [Reboot required (リブート必須)] オプションが [NO] と表示されます。

回避策 DUU では、[Reboot required (リブート必須)] オプションを [NO] として表示し続けます。更新されたチップセット ドライバを取得するために、ユーザーはホストを再起動する必要があります。

- CSCvp76597

症状 [SCU IOs Inventory (SCU IO インベントリ)] タブには、Emulex ストレージ アダプタの不正な WWPN が表示されます。

回避策 正しい WWPN 値については、BIOS を参照する必要があります。

- CSCvp93110

症状 SCU に表示されるサーバ インベントリとサーバ ヘルスの詳細は、特定のコンポーネントでは不正確な場合があります。

回避策 ユーザーは、最新かつ正確な情報を得るために、Cisco IMC/BMC を参照する必要があります。

- CSCvp61260

症状 SCU に表示されるサーバ インベントリとサーバ ヘルスの詳細は、特定のコンポーネントでは不正確な場合があります。

回避策 ユーザーは、最新かつ正確な情報を得るために、Cisco IMC/BMC を参照する必要があります。

- CSCvp61184

症状 SCU IO インベントリでは、MAC アドレスが Qlogic アダプタの NA としてリストされます。

回避策 正しいインベントリの詳細については、Cisco IMC/BMC Web UI を参照する必要があります。

- CSCvp98744

症状 [OS list (OS リスト)] ドロップダウンに関連する SCU UI には、C220 M5 および C240 M5 サーバでサポートされていない場合でも、UBUNTU 18.04 が一覧表示されます。

回避策 UBUNTU 18.04 自体は、すべてのマイナーバージョンをサポートします。そのため、UBUNTU 18.04.01 もサポートされています。そのため、UBUNTU 18.04.01 をインストールするには、UBUNTU 18.04 を選択できます。

- CSCvp98703

症状 ESXI 6.7 のインストール中に次のエラー メッセージが表示されます。「3 回試行しても `tryformatdevice` 正常に実行できません。インストールが続行できません。」

回避策 Intel SSD から RAID0 を作成し、OS をインストールします。

- CSCvq64911

症状 古い Cisco VIC 管理ドライバは、ドライバがシステム内に物理的に存在しない場合でも、SCU に一覧表示されます。この問題は、リリース 6.0(4c) で解決されています。

回避策 この問題の既知の回避策があります。システム上で機能への影響はありません。

リリース 6.0(2)

このセクションでは、リリース 6.0(1j) における未解決の問題を記載しています。

- CSCvq98740

症状 Cisco UCS C460M4 サーバで DUU が起動されると、2つのチップセット オプションが表示されます。これらのチップセットの1つは、チップセットドライバが正常に更新された後でも、現在のドライババージョンと使用可能なドライババージョンに不一致があることを示しています。

回避策 この問題の既知の回避策はありません。最新のドライバがすでに正常にインストールされているため、不一致を無視できます。

- CSCvq99969

症状 Cisco UCS C460M4 サーバでは、NI-SCU スクリプトを使用して Win2012R2 をインストールする際に、インストールが成功した場合でも、NI-SCU スクリプトに次のエラーが表示されます。

「作業保留中の処理プロセス

作業保留中の処理プロセス

プロセス プロセス 1:

トレースバック (最新のコール):

```
File "/usr/lib64/python2.7/multiprocessing/process.py", line 258, in _bootstrap
self.run()
```

```
File "/usr/lib64/python2.7/multiprocessing/process.py", line 114, in run
self._target(*self._args, **self._kwargs)
```

```
File "run_snapshot_niosi.py", line 2280, in IodHandleSnapshotTests
responseData = IodProcessPendingWork(logger, work)
```

```
File "run_snapshot_niosi.py", line 2246, in IodProcessPendingWork
work.osiStatus(logger)
```

```
File "run_snapshot_niosi.py", line 702, in osiStatus
```

「OS メディアが見つかりません。適切な OS メディアを入力してください。」 (responseData:

TypeError: 「NoneType が再現できません」タイプの引数

回避策 この問題の既知の回避策はありません。エラーメッセージが表示された場合でもインストールが成功するため、エラーメッセージを無視できます。

- CSCvr01665

症状 Cisco UCS サーバ設定ユーティリティの起動ページに、SCU ソフトウェアの不正なダウンロード ページが表示されます。また、SCU では起動ページに記載されているように、「BIOS および CIMC ファームウェアのアップグレードおよびインタラクティブなオフライン診断」をサポートしていません。

回避策 <https://software.cisco.com/download/home> から SCU ソフトウェアを検索してダウンロードすることができます。

- CSCvr08867

症状 Windows 2012R2 OS を搭載した Cisco UCS C220M4 サーバでは、DUU に Qlogic および Broadcom デバイスドライバは表示されません。

回避策 この問題の既知の回避策はありません。機能への影響はありません。Win2k12 では、Qlogic および Broadcom デバイスの Win2k12 では、受信トレイ ドライバを使用できます。

- CSCvr09421

症状 Windows 2012R2 OS を搭載した Cisco UCS C220M4 サーバでは、inbox ドライバに正しくない LSI コントローラドライババージョンが表示されます。

回避策 この問題の既知の回避策はありません。

- CSCvr09464

症状 Cisco UCS C220M4 サーバでは、Cisco 12G モジュラ SAS パススルー コントローラのドライバの更新中に DUU が応答しません。

回避策 www.cisco.com からドライバ .iso ファイルをダウンロードし、同じものを使用してドライバを更新します。

- CSCvr01571

症状 Cisco UCS S3260M5 サーバが 26 を超える VD を使用している場合、SCU には RAID 設定で次のいずれかのエラーが表示されます。

不正な応答、応答要素なし

エラー : <http://127.0.0.1/SCU/fastegi> をロードできません

回避策 Cisco IMC Web GUI または XML API から VD を作成します。

ここでは、Cisco UCS SCU リリース 6.0 (2a) における未解決の問題を記載しています。

- CSCvo45452

症状 NISCU の実行中は、SCU がライセンス ページで起動し、OS のインストールが失敗します。

回避策 NISCU を再トリガーします。

リリース 6.0(1)

ここでは、Cisco UCS SCU リリース 6.0 (1) における未解決の問題を記載しています。

- CSCvm67025

症状 Windows のインストールが UEFI モードで失敗する。

回避策 もう一方のディスクのパーティションをクリアし、インストールを再試行します。

Release 5.1(1)

ここでは、Cisco UCS SCU リリース 5.1 (1) で未解決の問題を示します。

- CSCvg09045

症状 OS のインストールが完了せず、[license (ライセンス)] ページでユーザー入力を待機している SCU が停止しています。これは、ネットワーク モードが専用モードのときに NI SCU をトリガーすると発生します。

回避策 Cisco IMC ネットワーク モードを共有 LOM モードに変更します。

既知の動作

- [リリース 6.0\(2\)](#)
- [Release 5.1\(1\)](#)

リリース 6.0(2)

このセクションでは、Cisco UCS SCU リリース 6.0(2) における既知の動作を記載しています。

- CSCvg30801

症状 インストール後、ホストは ESXi オペレーティング システムで起動しません。

回避策 OS のインストールは、UEFI モードで実行されます。

ブート オプション ファイル パス `\EFI\BOOT\BOOTx64.EFI` を持つ BIOS から新しいブート オプションを追加し、ホストを再起動します。

- CSCvo25932

症状 Windows のインストール後、nVidia GPU ドライバはインストールされません。

回避策 nVidia GPU カードを搭載したサーバでの Windows のインストールでは、cisco.com に掲載されている windows のドライバ ISO をダウンロードし、OS のインストール後に手動でドライバをインストールできます。

Release 5.1(1)

ここでは、Cisco UCS SCU リリース 5.1 (1) の既知の動作を示します。

- CSCvg23396

症状 NI SCU スクリプトはタイムアウト エラーで終了しますが、OS のインストールは続行され、完了します。これは、ISO リポジトリと Cisco IMC の間の帯域幅が少ないネットワークで発生します。

回避策 なし。メッセージを無視します。

- CSCvg42114

症状 Red Hat Enterprise Linux 6 Update x で `ucs_duu` を実行している間に、「GLIBC_2.14」が見つかりません (`./ucsduu` による要求) というエラー メッセージが表示されます。

回避策 手順は次のとおりです。


```
S : ステップ 1    mkdir ~/glibc_install;cd ~/glibc_install
S : ステップ 2    wget http://ftp.gnu.org/gnu/glibc/glibc-2.14.tar.gz
S : ステップ 3    tar zxvf glibc-2.14.tar.gz
S : ステップ 4    cd glibc-2.14: mkdir build: cd build
S : ステップ 5    make-j4
S : ステップ 6    sudo make install
S : ステップ 7    export LD_LIBRARY_PATH =/opt/glibc-2.14/lib
```

関連資料

このリリースの設定については、以下を参照してください。

- [Cisco UCS Server Configuration Utility ユーザーガイド](#)
- [Cisco Driver Update Utility ユーザーガイド](#)

次の関連資料は、Cisco Unified Computing System (UCS) で入手できます。

- [『Cisco UCS C-Series Servers Documentation Roadmap』](#)
- [『Cisco UCS Site Preparation Guide』](#)
- [『Regulatory Compliance and Safety Information for Cisco UCS』](#)

マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート

マニュアルの入手方法、テクニカル サポート、その他の有用な情報について、次の URL の『*What's New in Cisco Product Documentation*』を参照してください。

https://www.cisco.com/c/ja_jp/td/whatsnew.html

『*What's New in Cisco Product Documentation*』は、シスコの新規および改訂版の技術マニュアルの一覧も示し、RSS フィードとして購読できます。また、リーダー アプリケーションを使用してコンテンツをデスクトップに配信することもできます。RSS フィードは無料のサービスです。

このマニュアルは、「[関連資料](#)」の項に記載されているマニュアルと併せてご利用ください。

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: www.cisco.com/go/trademarks. 掲載されている第三者の商標はそれぞれの権利者の財産です。「パートナー」または「partner」という用語は、シスコと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(1110R)

Cisco UCS Server Configuration Utility リリース ノート
© 2017-2019 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

